

令和6年度 第 10 回行政会議 会議録

日 時	令和7年1月14日(火)午前 11 時～
場 所	行政会議室
出 席 者	別添「令和6年度第 10 回行政会議名簿」のとおり

挨拶	瀬野市長
内 容	今年は、4月 13 日に大阪・関西万博が開幕。本市は、子ども達の無料招待や「大阪ウィーク」への出展等で参画予定。また、令和7年度は第6次総合基本計画後期計画の策定作業が本格化。いずれも、全庁的に取り組むこと。 現在、令和7年度の予算編成を進めているが、当初予算は非常に厳しい状況。限られた財源を有効に活用するためにも、既存事業の見直しによる財源確保が必要。今後も厳しくなることが予想される状況乗り越えるため、職員全員が財政状況を認識し、取り組めるようにすること。 昨夜の日向灘沖の地震では、宮崎県で震度5弱を観測。一時は南海トラフ地震の臨時情報も発表された。本市で揺れは観測されなかったが、有事の際に慌てることのないよう、危機管理室を中心に各部局も連携すること。

【案件】

案 件	令和7年度定期人事異動方針について
説 明 者	上甲総務部長
提出資料	有
内 容	昨年度と大きな変更点はなし。キャリアアップ申告制度は、例年どおり実施予定。対象は在課3年以上の主任級以下で、主体的にチャレンジしたい分野や業務を具体的に希望する職員。近年の反映率は、令和5年度が 28.6%、令和6年度が 38.9%。なお、チャレンジ制度は、令和7年度は実施しない。行政会議終了後、本方針を周知予定。 また、人事評価について昨年末に周知しており、2月7日までに二次評価を完了するようお願いする。
質 疑 等	(瀬野市長) 近年のキャリアアップの申告件数は、どのくらいか。 (上甲部長) 令和5年度が 17 人、令和6年度が 18 人。 (小浜水道事業管理者) キャリアアップ申告制度とチャレンジ制度との違いは何か。 (上甲部長)

	キャリアアップ申告制度は、職員がチャレンジしたい分野や業務を行う部署への異動を希望するもの。チャレンジ制度は、新規施策等の推進施策に対して職員を公募するもの。
--	---

そ の 他	—
説 明 者	須田副市長
提 出 資 料	無
内 容	2点、指示事項を伝える。 1点目、市政情報の発信について。開かれた市政運営の一層の推進に向け、情報発信の意義を改めて認識し、効果的な発信手法や時期等を今一度見直すため、企画財政部に対して、情報発信ルールや市ホームページの質の向上、プレスリリースにあたっての訴求力向上の検討を指示。令和7年度からの実施に向け、3月の行政会議で報告すること。 2点目、事務ミスについて。事務ミスは、場合によっては市民の生命や財産に影響を及ぼすこともある。総務部に対して、事務ミスの対応策の検討を指示。研修の実施やマニュアル、チェックリストの作成、ダブル・トリプルチェック体制の構築、ミスにいち早く気づく「見える化」等、具体的な手法を検討すること。 また、監査委員事務局にも監査の強化方策の検討を指示。こちらも、ともに令和7年度からの実施に向け、3月の行政会議で報告すること。
質 疑 等	(瀬野市長) 事務ミスの削減は、職員1人ひとりの意識が重要。部局長は、職員の意識向上に向けた注意喚起を日頃から行うこと。